

千葉大学病院にて硬膜外麻酔を受けた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年10月24日
麻酔・疼痛・緩和医療科

麻酔・疼痛・緩和医療科では、偶発的硬膜穿刺後頭痛の発生頻度および重症度に関連するリスク因子の解明に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2013年1月1日～2024年3月31日の間に手術前に硬膜外麻酔を実施された18歳以上の方

1. 研究課題名

「偶発的硬膜穿刺後頭痛の発生頻度および重症度に関連するリスク因子の解明」

2. 研究期間

2024年承認日～2028年3月31日

この研究は、観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

硬膜外麻酔実施時の情報や術後の頭痛の有無、継続期間、重症度などを診療録からデータを抽出し解析を行います。

あなたの情報は千葉大学予防医学センターにおいて統計解析が行われますが、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究IDに置換するなどの加工及び、個人情報の保護に関する法律に準じた安全管理を行います。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている年齢、性別、身長、体重、BMI、病歴、生活歴（飲酒・喫煙）、職業歴、既往歴、併用薬、家族歴、手術前後の血液検査値、手術の内容、麻酔記録情報、手術後の回診記録
手術後に頭痛が発生した場合の痛みの程度、治療方法、投薬、慢性痛の有無など

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究代表機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 大鳥 精司

研究責任者：麻酔・疼痛・緩和医療科 助教 孫 慶淑

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部附属病院麻酔・疼痛・緩和医療科内で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院 麻酔・疼痛・緩和医療科

医師 孫 慶淑

043 (222) 7171 内線72321